

平成 22 年度 『即席めん』の摂取・購入状況および意識調査

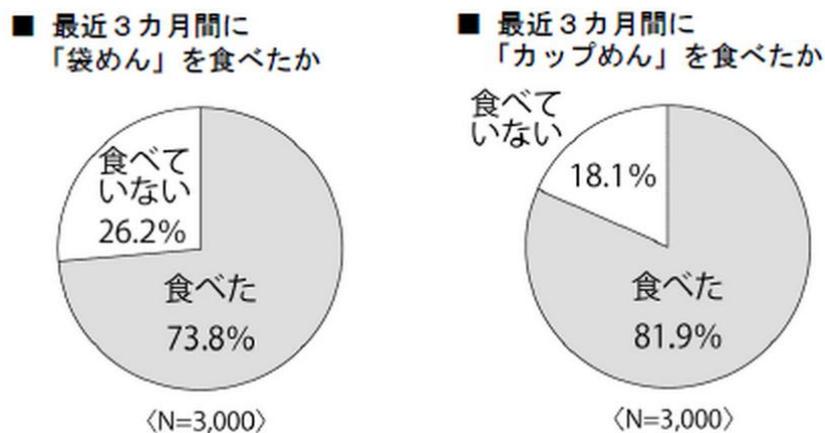
一般社団法人 日本即席食品工業協会では、インスタントラーメンに関する消費者意識調査を継続して行っています。平成22年度の調査結果は次の通りです。

【調査対象者】全国の15～69歳 男女 3,000人 【調査期間】2010年11月19日～11月21日 【調査方法】インターネット調査

1.【即席めんの摂取状況】

●最近3カ月に食べた人は袋めん73.8%、カップめん81.9%

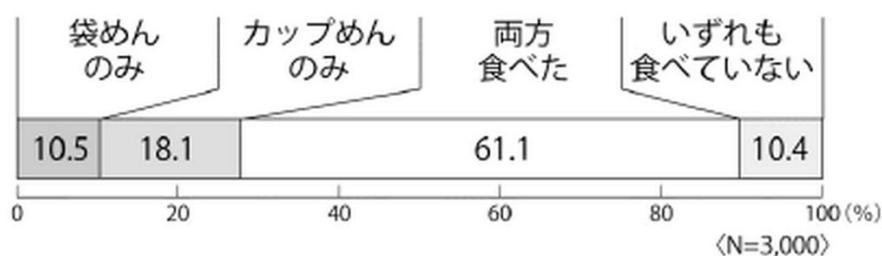
最近3カ月間に即席めんを食べたか聞いたところ、『袋めん』は7割強(73.8%)が、『カップめん』では8割強(81.9%)が「食べた」と答えていて、即席めんが日本の食生活に深く根付いている様子がうかがえます。



●最近1カ月に即席めんを食べた人は9割、 そのうち袋めん、カップめんの両方食べた人が6割

1カ月の摂取状況を見ると、即席めんの摂取率(『袋めん』、『カップめん』のいずれか、あるいは両方を食べる人の割合)は約9割(89.6%)に上ります。そのうち『袋めん』と『カップめん』の両方食べた」が6割強(61.1%)で、「カップめんのみ」(18.1%)、「袋めんのみ」(10.5%)を大きく上回っています。

■最近1カ月の「袋めん+カップめん」の摂取パターン (%)



●1カ月に食べる個数は袋めん2.5個、カップめん3.0個

1カ月間に食べる即席めんの個数を聞いたところ、平均すると『袋めん』2.5個、『カップめん』3.0個でした。性別では男性(袋めん2.9個、カップめん3.7個)の方が女性(袋めん2.1個、カップめん2.2個)より多く、男性の『カップめん』の個数(3.7個)が突出しています。エリア別では大きな違いは見られませんが、東日本では『カップめん』の方が『袋めん』よりも多く食べられ、西日本では『袋めん』と『カップめん』の個数はほぼ同じでした。

性・年代別に見ると、『袋めん』では意外にも男性60代が3.3個と最も多くなっています。即席めんが発売され始めた半世紀前に青春時代を過ごした団塊の世代の人たちが『袋めん』の消費をリードしているようです。一方、60代では男女とも『カップめん』の消費は低くなっています(男性2.6個、女性1.7個)。『カップめん』は、20代男性(4.6個)をトップに10～50代まで幅広い年代の男性に支持されています。10代(15～19歳)女性は、他の層に比べて即席めんの消費が全般的に低くなっています(袋めん1.6個、カップめん1.7個)。

■1カ月に食べる平均個数(性別/エリア別)

			袋めん	カップめん
全体		<N=3000>	2.5 個	3.0 個
性別		男性<n=1502>	2.9 個	3.7 個
		女性<n=1498>	2.1 個	2.2 個
エリア別	東日本	北海道・東北<n=343>	2.5 個	3.5 個
		関東・甲信越<n=1128>	2.3 個	3.0 個
		中部・北陸<n=472>	2.4 個	3.0 個
	西日本	近畿<n=464>	2.7 個	2.8 個
		中国・四国<n=262>	2.5 個	2.5 個
		九州<n=331>	3.1 個	3.1 個

■1カ月に食べる平均個数(性・年代別)

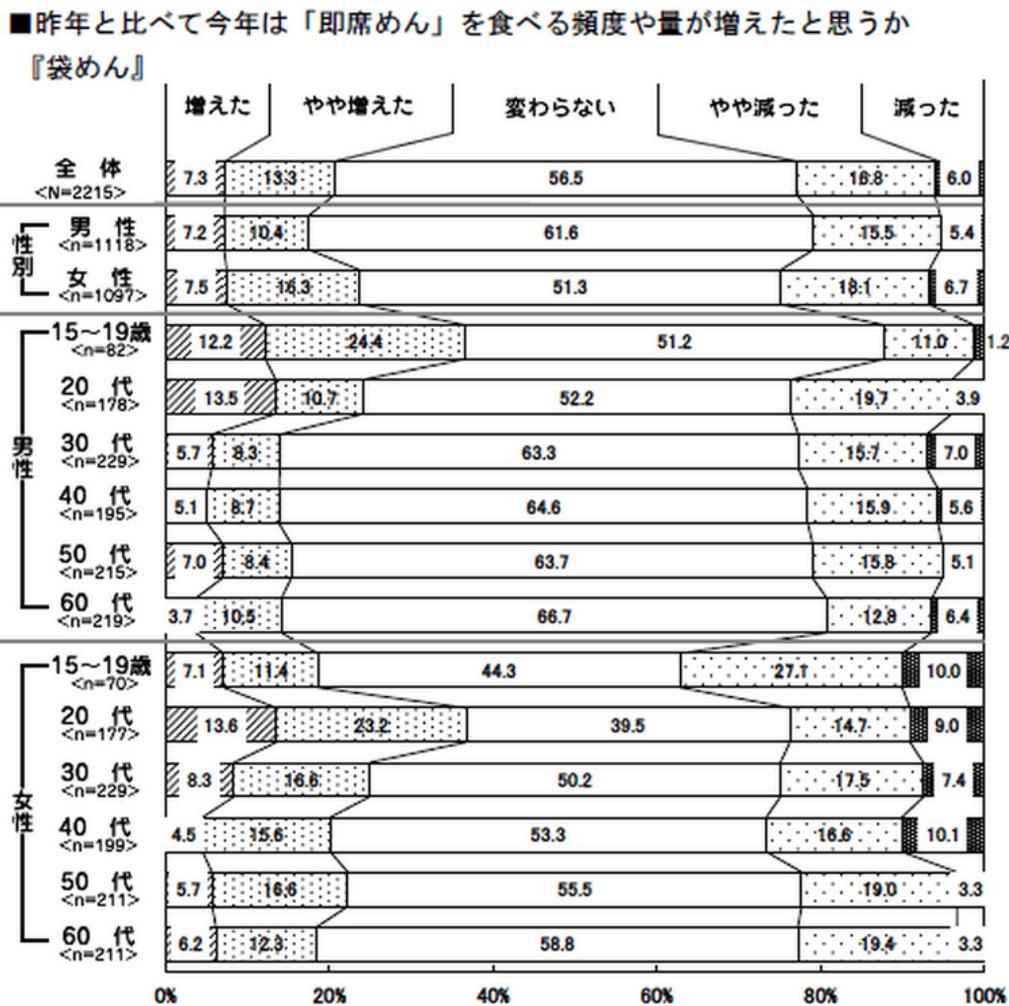
			袋めん	カップめん
男性	15～19歳<n=103>	2.8 個	4.0 個	
	20代<n=246>	2.9 個	4.6 個	
	30代<n=309>	2.3 個	4.0 個	
	40代<n=276>	2.7 個	4.0 個	
	50代<n=280>	3.1 個	3.6 個	
	60代<n=288>	3.3 個	2.6 個	
女性	15～19歳<n=100>	1.6 個	1.7 個	
	20代<n=236>	2.3 個	2.9 個	
	30代<n=301>	2.0 個	2.4 個	
	40代<n=270>	1.9 個	2.1 個	
	50代<n=285>	2.5 個	2.2 個	
	60代<n=306>	2.0 個	1.7 個	

●この1年で10代男性や20代女性の摂取頻度・量が増加

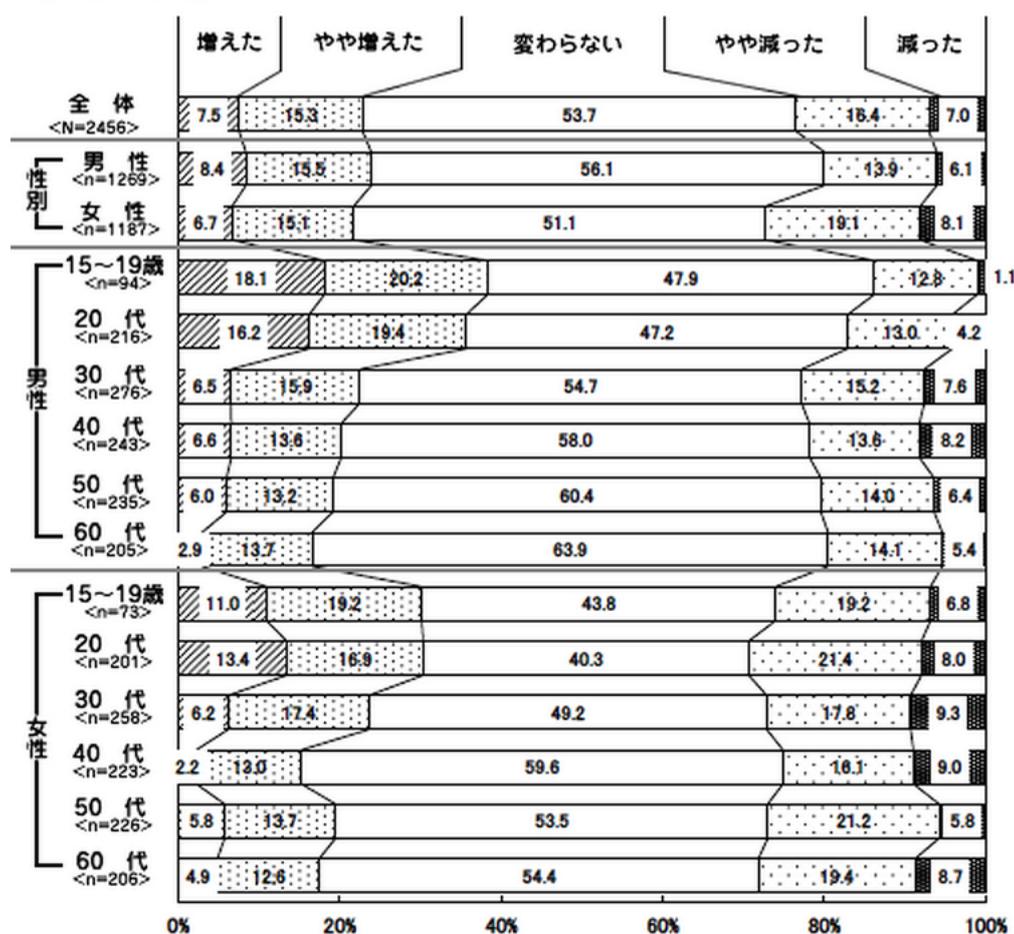
最近3カ月間の『袋めん』摂取経験者(2215名)と『カップめん』摂取経験者(2456名)のそれぞれに、昨年と比べて、今年は『袋めん』、『カップめん』を食べる頻度や量は増えたと思うか聞いたところ、「変わらない」(袋めん56.5%、カップめん53.7%)が半数以上を占めました。“増えた(増えた+やや増えた)”(同20.6%、22.8%)という人と“減った(やや減った+かなり減った)”(同22.8%、23.4%)という人はいずれも2割強となっています。

性・年代別にみると、男性10代(同36.6%、38.3%)と女性20代(同36.8%、30.3%)で「増えた」が高くなっていて、若者たちの間で即席めんの良さが見直されている様子がうかがえます。

一方、女性10代では『袋めん』で「減った」(37.1%)が他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。



『カップめん』

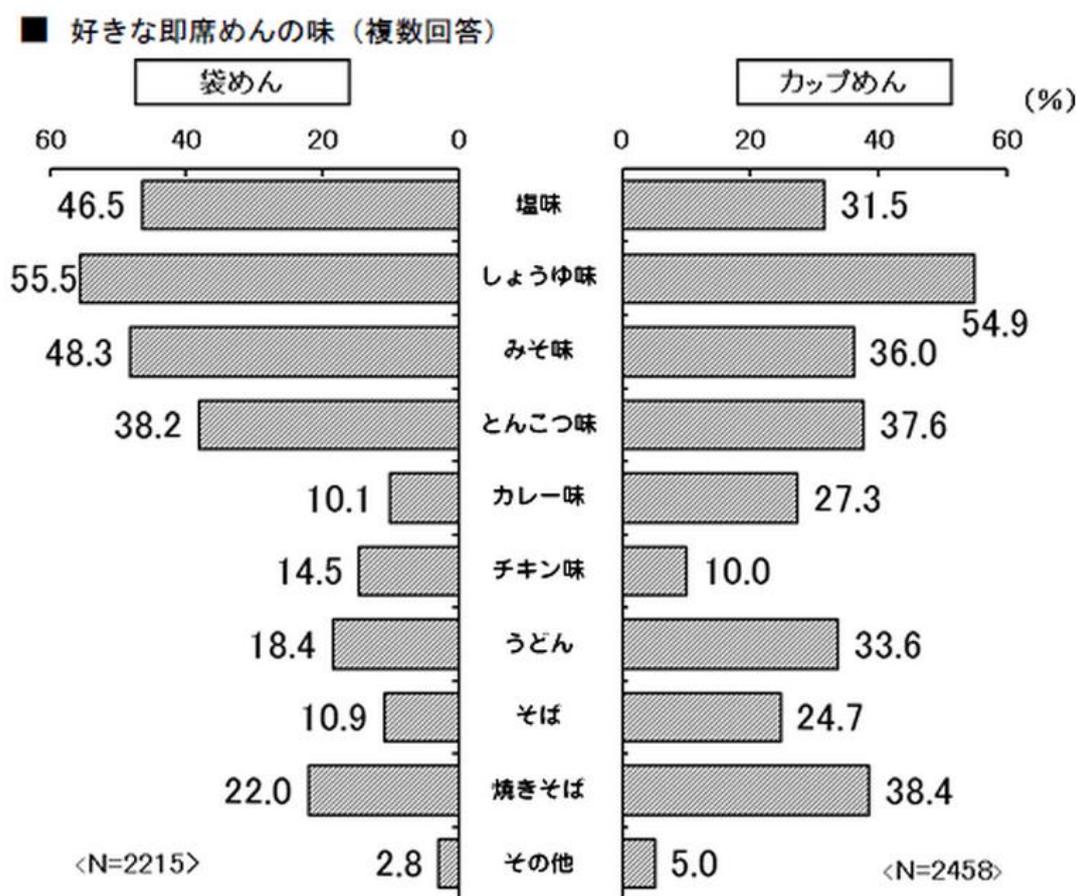


2.【即席めんの良さ】

- 好きな味は『袋めん』は①しょうゆ ②みそ ③塩
『カップめん』は①しょうゆ ②焼きそば ③とんこつ

最近3カ月間に即席めんを食べたことがあると答えた人に好きな味について聞いたところ、『袋めん』では「しょうゆ味」(55.5%)が最も多く、以下「みそ味」(48.3%)、「塩味」(46.5%)、「とんこつ味」(38.2%)などが続いています。

『カップめん』では「しょうゆ味」(54.9%)が最も多く、以下「焼きそば」(38.4%)、「とんこつ味」(37.6%)、「みそ味」(36.0%)、「うどん」(33.6%)、「塩味」(31.5%)などの順となり、ラーメン以外の即席めんをあげる人も少なくありません。

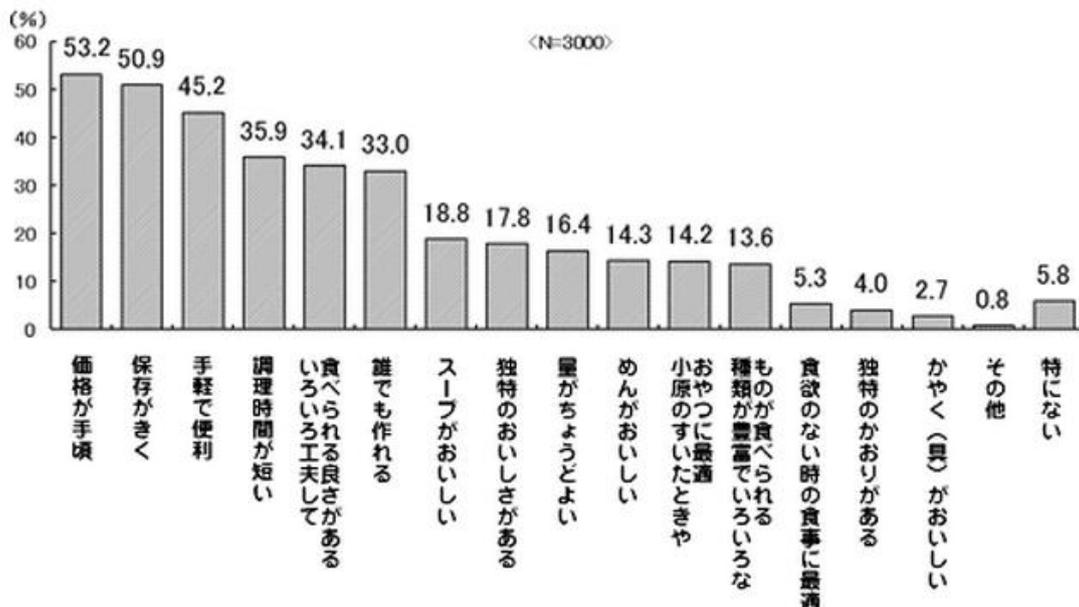


- 袋めんの良さは①価格が手頃 ②保存がきく ③手軽で便利、
カップめんの良さは①手軽で便利 ②調理時間が短い ③保存がきく

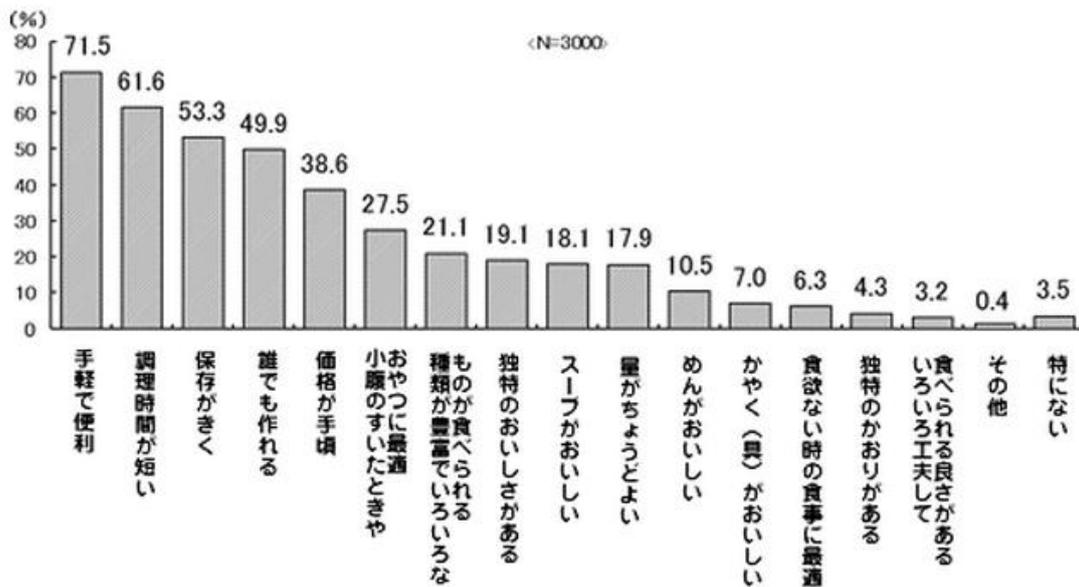
即席めんの良さをどのようなところに感じるかを聞いたところ、『袋めん』では「価格が手頃」(53.2%)が最も多く、次いで「保存がきく」(50.9%)、「手軽で便利」(45.2%)、「調理時間が短い」(35.9%)、「いろいろ工夫して食べられる良さがある」(34.1%)、「誰でも作れる」(33.0%)などの順でした。『袋めん』では“価格”と“保存性”が高く評価されています。

次に、『カップめん』の良さを聞いたところ、「手軽で便利」が7割強(71.5%)で最も多く、次いで「調理時間が短い」が6割強(61.6%)で続き、『袋めん』に比べて“簡便性”が高く評価されています。以下「保存がきく」(53.3%)、「誰でも作れる」(49.9%)、「価格が手頃」(38.6%)、「小腹のすいたときやおやつに最適」(27.5%)などの順でした。

■ 「袋めん」の良さを感ずるところ (複数回答)



■ 「カップめん」の良さを感ずるところ (複数回答)

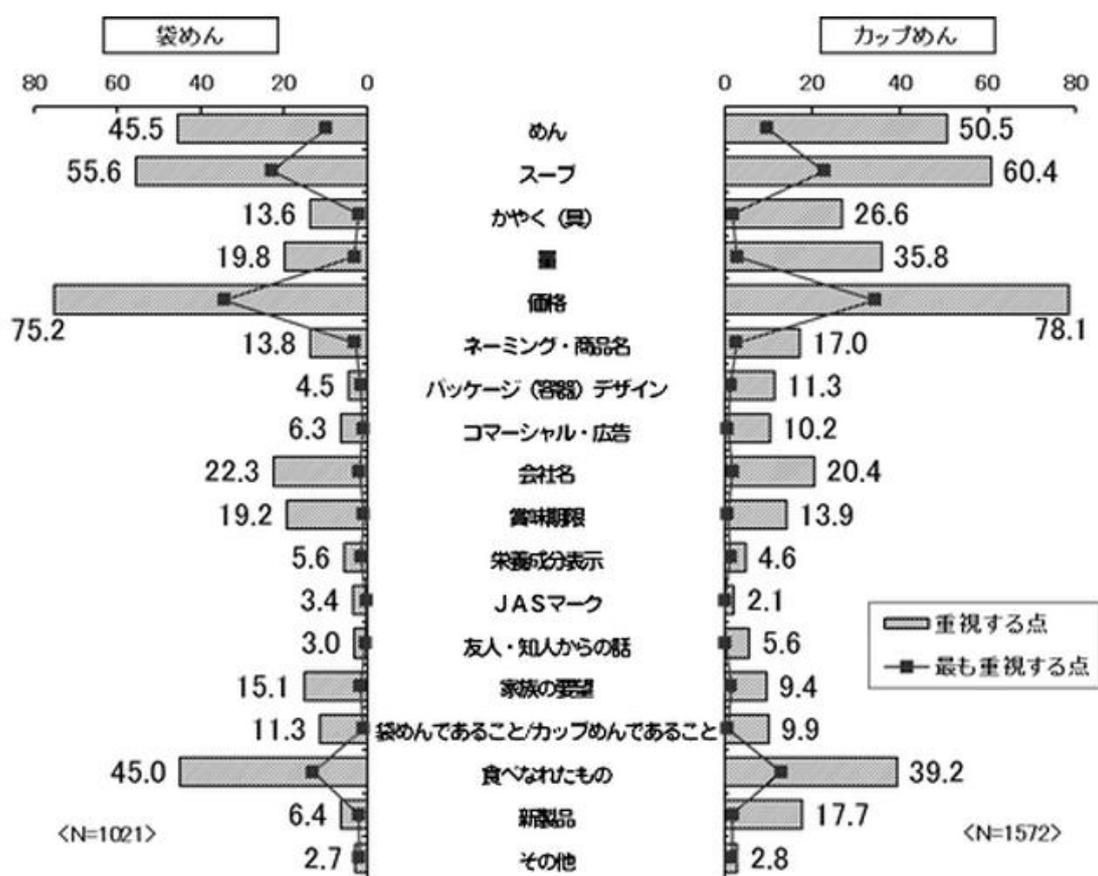


3.【即席めんの購入状況】

●買う時に重視することは「価格」が断然トップで「スープ」、「めん」が続く

「主に袋めんを購入する」と回答した人(1021名)と「主にカップめんを購入する」と回答した人(1572名)のそれぞれに、買う時に重視する点を複数回答で答えてもらったところ、『袋めん』『カップめん』ともに「価格」(袋めん75.2%、カップめん78.1%)が断然のトップでした。以下「スープ」(同55.6%、60.4%)、「めん」(同45.5%、50.5%)が続きます。

その中で「最も重視すること」を聞いたところ、「価格」(同35.2%、34.2%)、「スープ」(同20.1%、22.8%)に次いで「食べなれたもの」(同16.9%、12.9%)が「めん」よりも上位にあげられました。



本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本即席食品工業協会
 〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-5-5 キムラビル3階
 担当: 鈴木 電話: 03-3865-0811
 URL <http://www.instantramen.or.jp>
 Eメール daihyo@sokuseki-kyokai.com